

2021年7月29日

防衛大臣 岸 信夫 様
百里基地司令 空将補 石村 尚久 様

百里基地でのV22 オスプレイの無法な訓練の中止を求めます

自衛隊木更津駐屯地に暫定配備されている特殊作戦用V22オスプレイが、百里基地で本年8月から危険極まりない飛行訓練を行うことが明らかになりました。

自衛隊はV22オスプレイを17機所有するとしています。しかし、政府が配備先に計画している佐賀空港は地元佐賀市や有明漁業等が配備に反対しています。佐賀空港の地元が反対している最大の理由は、「危険極まりない欠陥機」だからです。訓練等で県民生活に大きな被害が出る恐れがあるからにほかなりません。

そもそもオスプレイは開発段階から30人もの乗組員が死亡する重大事故を起こしています。実践配備の後でも、相次いで墜落等の死亡事故を起こし、死亡者が多発したことから「未亡人製造機」との呼び名が付けられたほどです。それほど事故が多い「欠陥機」だという事です。さらに墜落事故の場合は、機体に使用している放射性物質がばらまかれる危険性も危惧されています。

オスプレイは、ヘリコプターのエンジン停止が発生した場合、翼の回転で着陸の衝撃を弱めるオートローテーション機能が働くのかも含めて、安全性への多くの疑問があります。またヘリモードから飛行機モードへの転換時の事故多発の危険性も指摘されています。

これらの機体の構造上の欠陥はいまだ解決されていませんし、沖縄の米軍基地でのオスプレイ墜落事故も発生しました。

百里基地の周辺住民は、長年戦闘機訓練の爆音被害を受け、事故の危険性と隣り合わせの生活をしてきました。2017年10月に起きたF4戦闘機の炎上事故や部品落下事故にも不安を感じてきました。

昨年、偵察航空隊の廃止やF4戦闘機の運用終了などにより、以前より訓練回数の減少による「静けさ」を取り戻しているなかで、今後は、墜落の危険性が高いオスプレイの飛行訓練を百里基地で実施することなどが許されるはずがありません。

私たちは、日米軍事一体化を推し進めるためのV22オスプレイの百里飛来と危険な飛行訓練の実施に反対します。

**百里の空にも、日本のどこの空にもオスプレイはいりません。
オスプレイの訓練は即刻中止することを求めます。**

【申入れ団体】 百里基地反対連絡協議会

- | | | | |
|-----------------|-------|---------------|-------|
| ・百里基地反対同盟 | 梅沢 勝 | ・百里訴訟弁護団 | 谷萩 陽一 |
| ・茨城県平和委員会 | 近藤 輝男 | ・茨城平和擁護県民会議代表 | 鈴木 博久 |
| ・農民運動茨城県連合会 | | ・社会民主党茨城県連合代表 | 井坂 章 |
| ・日本共産党茨城県委員会委員長 | 上野 高志 | ・新社会党茨城県本部委員長 | 金子 和雄 |